

平成 28 年度
小諸市の公共施設等に関する
市民アンケート調査

結果報告書



小 諸 市

目 次

第1章	小諸市の公共施設等に関する市民アンケート調査概要	1
第1節	調査目的	1
第2節	調査概要	1
第1項	調査対象と抽出方法	1
第2項	調査方法	1
第3項	調査期間	1
第4項	回収結果	1
第5項	集計結果	1
第2章	アンケート集計結果	2
第1節	回答者の属性に関すること	2
第1項	性別	2
第2項	年齢	2
第3項	職業	2
第4項	居住歴	2
第5項	交通手段	3
第2節	公共施設に関すること	4
第1項	利用頻度	4
第2項	施設分類毎の数とサービス水準	5
第3項	優先的に維持すべき施設	6
第4項	公共施設に関する状況の中で心配な点	6
第5項	見直しの方針	7
第6項	総合管理計画の基本方針	8
第7項	今後の施設整備	9
第8項	新たな取り組み方針	10
第3節	自由記述	11
第3章	まとめと御礼	12

第1章 小諸市の公共施設等に関する市民アンケート調査概要

第1節 調査目的

この度、小諸市が平成26年度から策定に取り組んでいる「小諸市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」と言う。）の基本方針や、今後の公共施設のあり方について市民アンケートを実施しました。このアンケートの結果は、上記計画策定の基礎資料とするとともに、関連する施設の管理や運営に活用します。

第2節 調査概要

第1項 調査対象と抽出方法

- ・ 16歳以上の小諸市民2,000人
- ・ 平成28年9月5日現在の住民基本台帳から、無作為抽出

第2項 調査方法

- ・ 郵送による調査票の発送
- ・ 同封の返信用封筒での返信による回収

第3項 調査期間

- ・ 平成28年9月8日（木）～平成28年10月31日（月）

第4項 回収結果

- ・ 調査票配布数：2,000部
- ・ 調査票回収数：592部
- ・ 調査票回収率：29.6%

第5項 集計結果

- ・ 集計結果は、四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

第2章 アンケート集計結果

第1節 回答者の属性に関すること

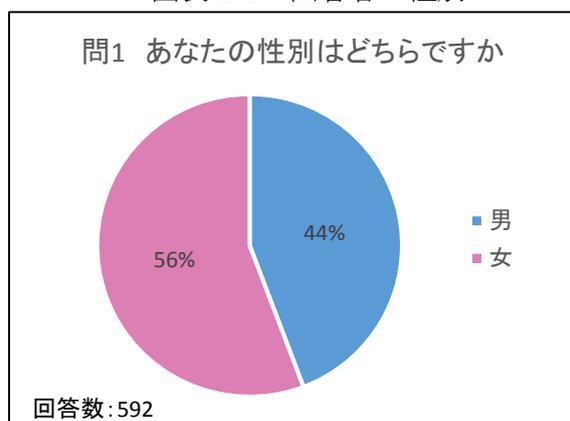
第1項 性別

問1では、回答者の性別を尋ねたところ図表2-1のような結果となりました。回答者総数の44%が男性で262人、56%が女性で330人でした。

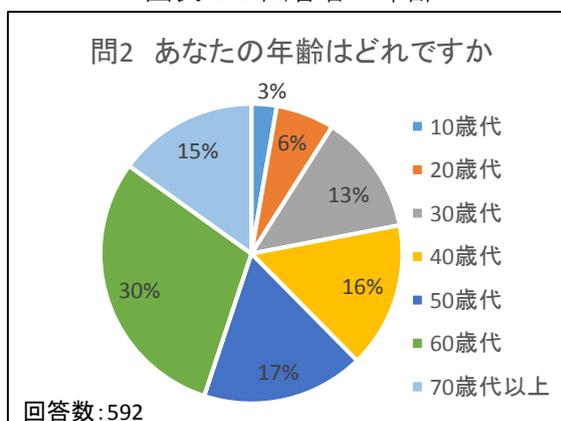
第2項 年齢

問2では、回答者の年齢を尋ねたところ、図表2-2のような結果となりました。全体の30%が60歳代からの回答でした。また、子育て世代と呼ばれる30歳代から40歳代までの回答が29%、10歳代から20歳代までの回答も9%ありました。

図表 2-1 回答者の性別



図表 2-2 回答者の年齢



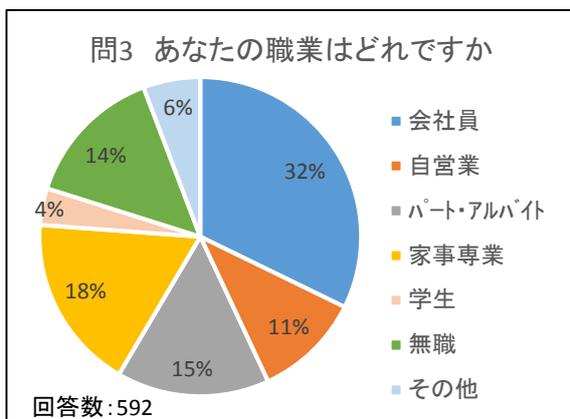
第3項 職業

問3では、回答者の職業を尋ねたところ図表2-3のような結果となりました。会社員の人が一番多く、次に家事専業の人からの回答が多くありました。また22人と少数ですが、学生からの回答もありました。

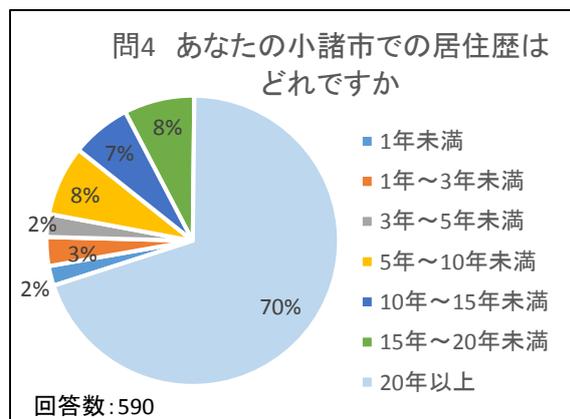
第4項 居住歴

問4では、回答者の小諸市での居住歴を尋ねたところ図表2-4の結果となりました。回答者の約70%の人が居住歴20年以上でした。その一方で3年未満の人は全体の5%と少ないことから、小諸市内への転入者が少ないことが分かります。

図表 2-3 回答者の職業



図表 2-4 回答者の居住歴



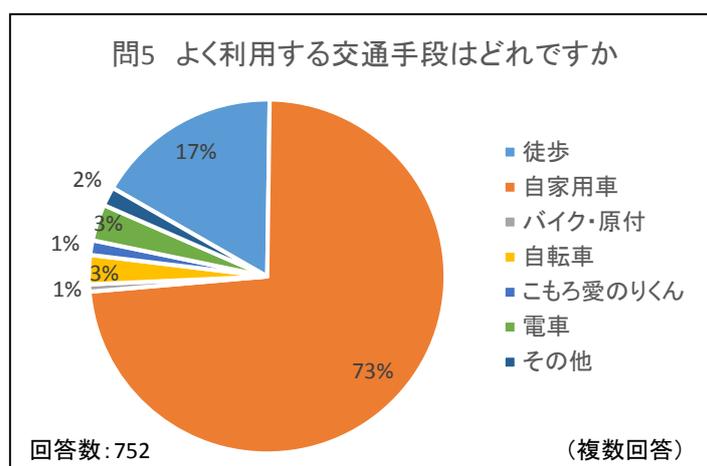
第5項 交通手段

問5では、回答者が市内の目的地へ移動するときに、よく利用する交通手段を2つ選択していただきました。

自家用車を良く利用すると選択した人は 552 人 (73%) いました。回答者の総数が 592 人でしたので、このアンケート調査では回答者の 93.2%の人が自家用車を良く利用していることになります。

この結果から、市内での交通手段には自家用車が重要な役割を果たしていることが分かります。また、市内には代替えとなる交通手段が少ないことから、高齢等の何らかの理由によって、自家用車の運転に不安があったとしても、運転せざるを得ないといった状況が推測されます。

図表 2-5 回答者の交通手段



第2節 公共施設に関すること

第1項 利用頻度

問6では、過去1年間に、下記の施設分類に示す公共施設をどのくらい利用したか尋ねました。また、利用頻度において③④を選んだ人には、その理由を選択していただきました。

図表 2-6 公共施設の利用頻度

施設分類 (数字は、その項目を選んだ人の数)	利用頻度				利用頻度で③④を選んだ理由							
	① 週に1回以上	② 月に1回以上	③ 年に数回程度	④ 利用していない	利用する機会が無い	施設のある場所が不便	予約時間が取れない	利用料金が不満	設備が不満	他市町村の類似施設を利用している	民間の類似施設を利用	施設の存在を知らない
1 行政系施設 【市役所、消防署等】	14	62	402	92	438	10	11	6	3	3	0	4
2 市民文化系施設 【文化センター、ほらせんこもろ、各地区公民館等】	11	57	237	264	446	19	1	1	6	3	3	24
3 資料館・博物館等 【高原美術館、町屋館、藤村記念館等】	1	13	133	424	481	24	0	8	9	12	5	25
4 図書館 【市立小諸図書館、市民交流センター】	19	102	147	305	378	17	5	2	3	20	5	6
5 レクリエーション・観光施設 【停車場ガーデン、あぐりの湯、懐古園等】	8	79	319	167	351	36	6	20	16	48	22	4
6 スポーツ施設 【市営球場、懐古射院、総合体育館等】	9	13	75	472	495	22	3	1	12	16	6	15
7 福祉施設 【デイサービスセンターあさま、福祉企業センター等】	5	3	6	555	524	3	0	0	1	3	3	32
8 教育施設 【小中学校、体育館・校庭の一般開放含む】	21	27	72	449	490	2	2	1	2	3	2	8
9 子育て支援施設 【保育園、児童館、こもろっじ等】	33	11	34	491	497	2	0	0	2	1	1	14
10 産業系施設 【農産物加工施設、西小諸活性化施設等】	2	3	27	533	488	6	0	0	0	7	1	81
11 公園 【南城公園、飯綱山公園、大手門公園等】	15	53	206	299	404	40	0	1	18	35	5	7
12 供給処理施設 【野火附処分場、クリーンヒルこもろ等】	4	13	175	381	457	34	8	13	1	10	6	23
13 人権同和関連施設 【人権センター、各集会場、栽培施設等】	1	13	29	528	498	4	1	1	2	0	1	68
14 その他 【やすらぎ会館等、貸付施設】	1	2	12	549	481	2	0	0	0	0	0	105

公共施設の多くは、年に数回程度の利用状況が最も多く、施設全体の平均利用率は23.4%という結果でした。これは、同じアンケート調査でも、回答者を学生が最も多い20歳代までに限定すると、図書館やスポーツ施設といった施設分類の利用率が上昇し、行政系施設や福祉施設の利用率が低下するといった傾向となることから、無作為抽出による調査では公共施設全体としての利用率は低い結果になったと考えられます。

また、利用者数が非常に少ない施設は、施設の特異性から利用できる人が限られていることが原因と考えられます。その一方で、図書館の様にどなたでも利用できる施設は一人当たりの利用回数が多くなることから、利用率が高くなったと考えられます。

施設をあまり利用しない理由は、全施設において「利用する機会が無い」という回答が最も多い状況でした。この他、「施設の存在を知らない」と回答した人も多数いるこ

とから、今後、施設紹介方法の改善が必要であると言えます。

第2項 施設分類毎の数とサービス水準

問7では、公共施設の数と、その施設で提供されているサービスの水準について尋ねました。

図表 2-7 施設分類毎の数とサービス水準

施設分類 (数字は、その項目を選んだ人の数)	施設の数						サービス水準					
	多すぎる	やや多い	適量	やや少ない	少なすぎる	わからない	満足	やや満足	適切	やや不満	不満	わからない
1 行政系施設 【市役所、消防署等】	7	6	470	19	6	64	62	46	261	77	31	76
2 市民文化系施設 【文化センター、ぼらせんこもろ、各地区公民館等】	11	31	367	28	9	127	29	29	229	59	30	167
3 資料館・博物館等 【高原美術館、町屋館、藤村記念館等】	21	60	275	31	11	171	21	22	167	63	34	227
4 図書館 【市立小諸図書館、市民交流センター】	1	6	414	48	13	90	83	51	217	33	10	153
5 レクリエーション・観光施設 【停車場ガーデン、あぐりの湯、懐古園等】	4	19	326	112	32	81	47	47	222	95	22	115
6 スポーツ施設 【市営球場、懐古射院、総合体育館等】	10	22	298	67	34	140	12	14	178	89	29	215
7 福祉施設 【デイサービスセンターあさま、福祉企業センター等】	2	18	178	72	30	265	6	5	129	48	15	325
8 教育施設 【小中学校、体育館・校庭の一般開放含む】	12	39	300	38	15	166	16	15	195	55	14	241
9 子育て支援施設 【保育園、児童館、こもろジジ等】	5	16	259	70	22	196	17	23	173	55	20	244
10 産業系施設 【農産物加工施設、西小諸活性化施設等】	9	14	168	40	16	321	3	4	122	40	12	343
11 公園 【南城公園、飯綱山公園、大手門公園等】	19	50	267	102	42	86	18	26	187	110	50	145
12 供給処理施設 【野火附処分場、クリーンヒルこもろ等】	1	1	348	38	12	170	13	14	222	42	41	220
13 人権同和関連施設 【人権センター、各集会場、栽培施設等】	23	41	177	10	3	314	4	5	125	29	11	356
14 その他 【やすらぎ会館等、貸付施設】	15	23	148	17	7	352	2	2	103	28	8	383

施設の総量について、「多すぎる」「やや多い」を選択した人の合計と、「やや少ない」「少なすぎる」を選択した人の合計を比べたところ、「多い」が上回った施設分類は、市民文化系施設、史料館・博物館等、人権同和関連施設、その他という結果でした。

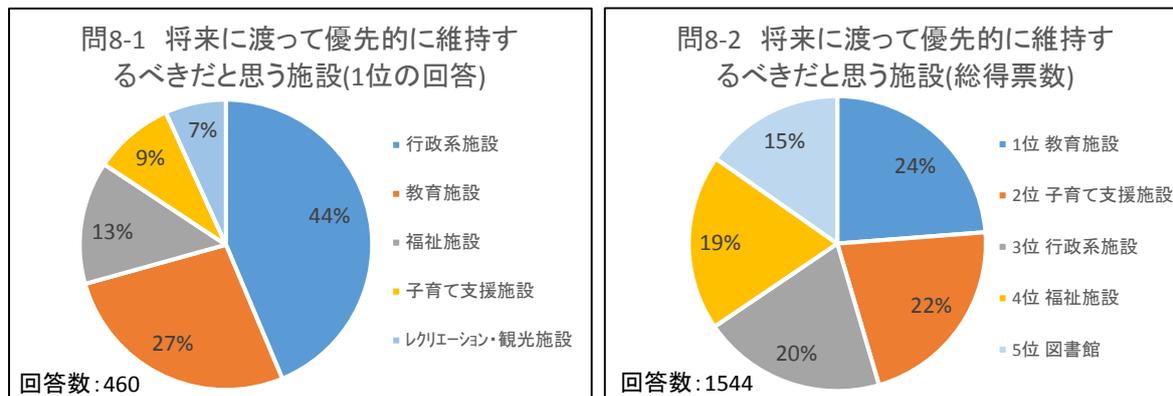
また、「少ない」が上回った施設分類は、行政系施設、図書館、レクリエーション・観光施設、スポーツ施設、福祉施設、教育施設、子育て支援施設、産業系施設、公園、供給処理施設という結果でした。特に、レクリエーション・観光施設と公園が「少ない」を選択した人が非常に多い結果となりました。

公共施設で提供している行政サービス水準は、図書館が「満足」「やや満足」を選択した人が非常に多かった一方で、それ以外の施設分類は「やや不満」「不満」を選択した人が多い結果となりました。このことから、図書館を除く全ての施設分類において、利用者の満足度向上に向けた施設運営の見直しが、大きな課題であると言えます。

第3項 優先的に維持すべき施設

問8では、小諸市が将来に渡って優先的に維持すべき施設について、施設分類の中から順番に1位から5位までを尋ねました。

図表 2-8 優先的に維持すべき施設



左上の図表（問8-1）は、優先的に維持すべきだと思う施設として、1位に選ばれた施設分類を集計したもので、右上の図表（問8-2）は同様に1位から5位のいずれかに選ばれた施設分類を集計したものです。

結果は、優先的に維持すべき施設分類として1位に「行政系施設」を選択した人が44%（201人）で最も多く、次に選ばれたのは「教育施設」でした。

その一方で、1位から5位までのいずれかに選ばれた施設分類の1位は「教育施設」で24%（367人）、2位に選ばれたのは「子育て支援施設」となり、3位に「行政系施設」という結果でした。

優先して維持すべき施設の中に、子どもに関連する施設である「教育施設」及び「子育て支援施設」の二つが挙がりました。この二つの施設分類は、どちらの集計方法でも選択する人が多く、次世代に係る施設について高い関心があると考えられます。

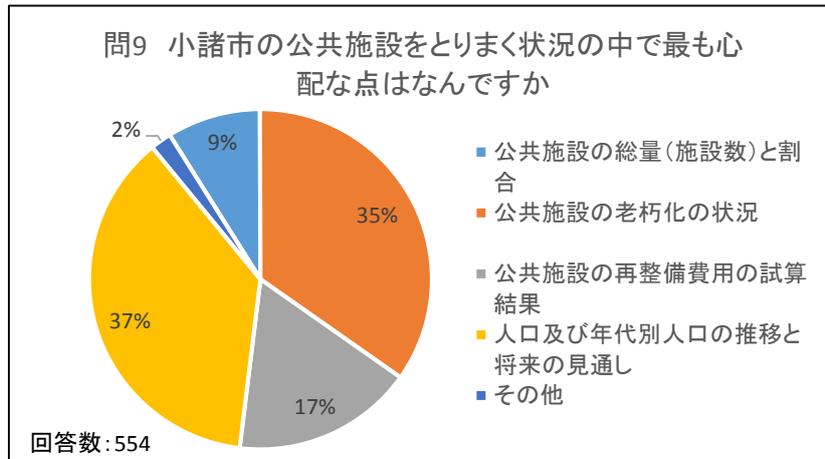
中でも「子育て支援施設」は、1位に挙げた人は9%（41人）と少数でしたが、1位から5位までに「子育て支援施設」を選ぶ人が多いことが分かりました。これは、「子育て支援施設」は最優先ではないけれど、優先的に維持していくべきだと考える人が多いことを表していると言えます。

第4項 公共施設に関する状況の中で心配な点

問9では、小諸市の公共施設を取り巻く状況の中で最も心配な点について、回答者の考えに最も近い選択肢を選んでいただきました。

最も心配な点として、35%の回答者が全国的な課題でもある、少子高齢化に伴う人口減少に関することを選ばれました。次に、公共施設自体の老朽化の状況を選択する人が多い結果となりました。

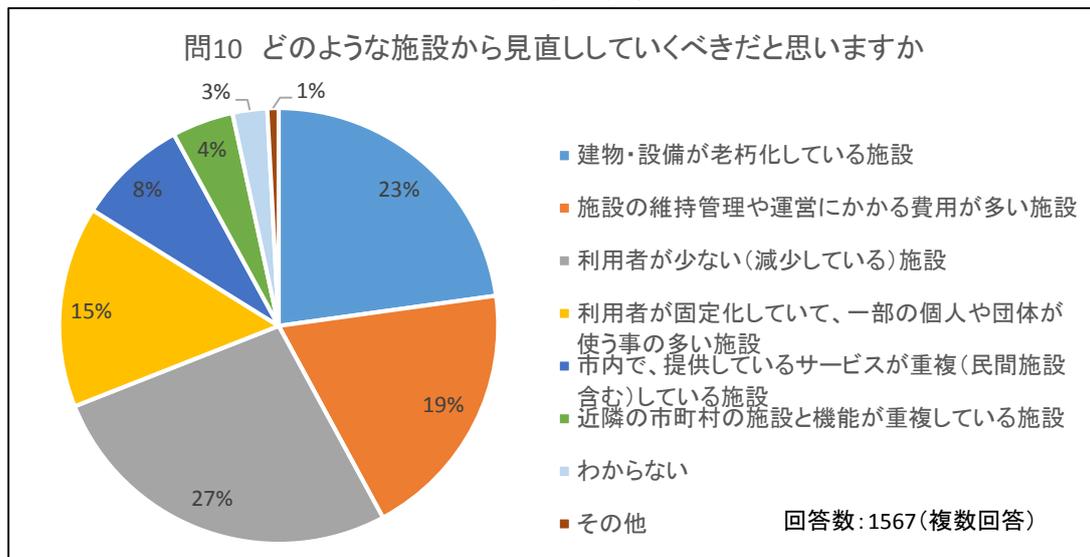
図表 2-9 公共施設を取り巻く状況の中で心配な点



第5項 見直しの方針

問10では、施設のあり方を見直す際に、どのような施設から見直しすればよいか、回答者の考えに最も近い選択肢を3つまで選択していただきました。

図表 2-10 公共施設の見直しの方針



施設利用者が少ない(減少している)施設を選択する人が最も多く27%(421人)でした。この結果には、問14の自由記述の中で「施設の必要性を(利用者が)多い・少ないというとらえ方だけで判断することに疑問を感じます。」とのご意見も寄せられています。

この設問は、たくさんある公共施設の中から、見直しをする施設の目安を考えるためのもので、この結果をもって直ちに廃止するとか、縮小するものではなく、利用者が少ない理由や、その施設で提供している行政サービスが今後も継続して必要なのか、と言

った様々な観点から検討していくものです。

第6項 総合管理計画の基本方針

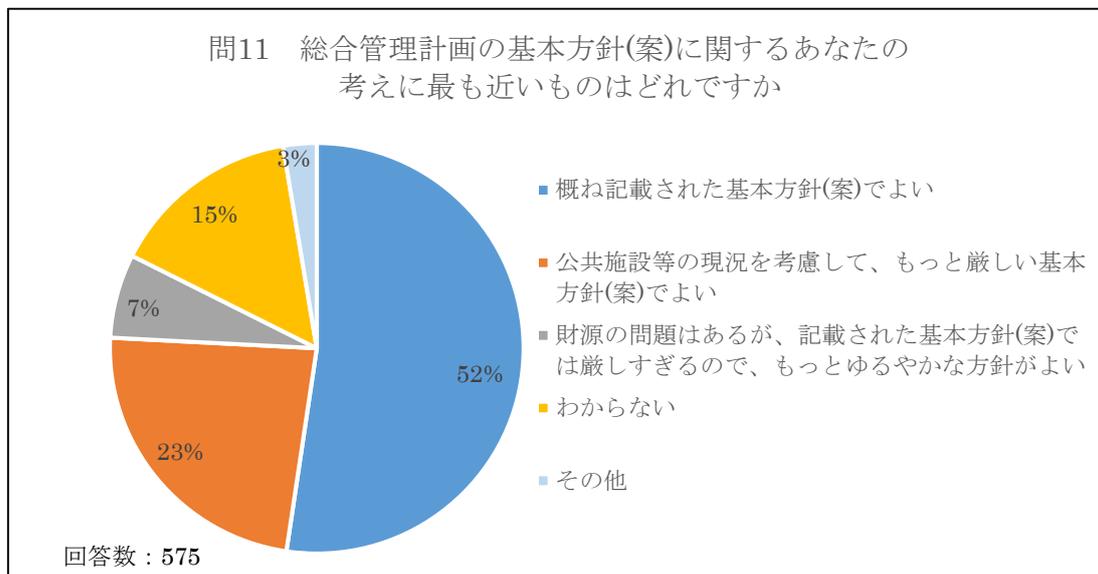
問 11 では、総合管理計画の基本方針（案）について、回答者の考えに最も近いものを選択していただきました。

（参考）

総合管理計画の基本方針（案） （詳細は省略。）

- ① 公共施設の総量縮減を目指します
- ② 新規施設の整備は原則として行いません
- ③ 公共施設の有効活用を図ります
- ④ 適切な維持管理を実施して長寿命化を図ります
- ⑤ 新たな需要に伴うインフラ施設の整備は効率的な対応を図ります
- ⑥ 新規整備は将来の維持管理や更新に配慮した設計を目指します
- ⑦ 施設の整備や維持管理に関して市民及び民間事業者等の力を積極的にかつようします

図表 2-11 基本方針（案）に関する考え方



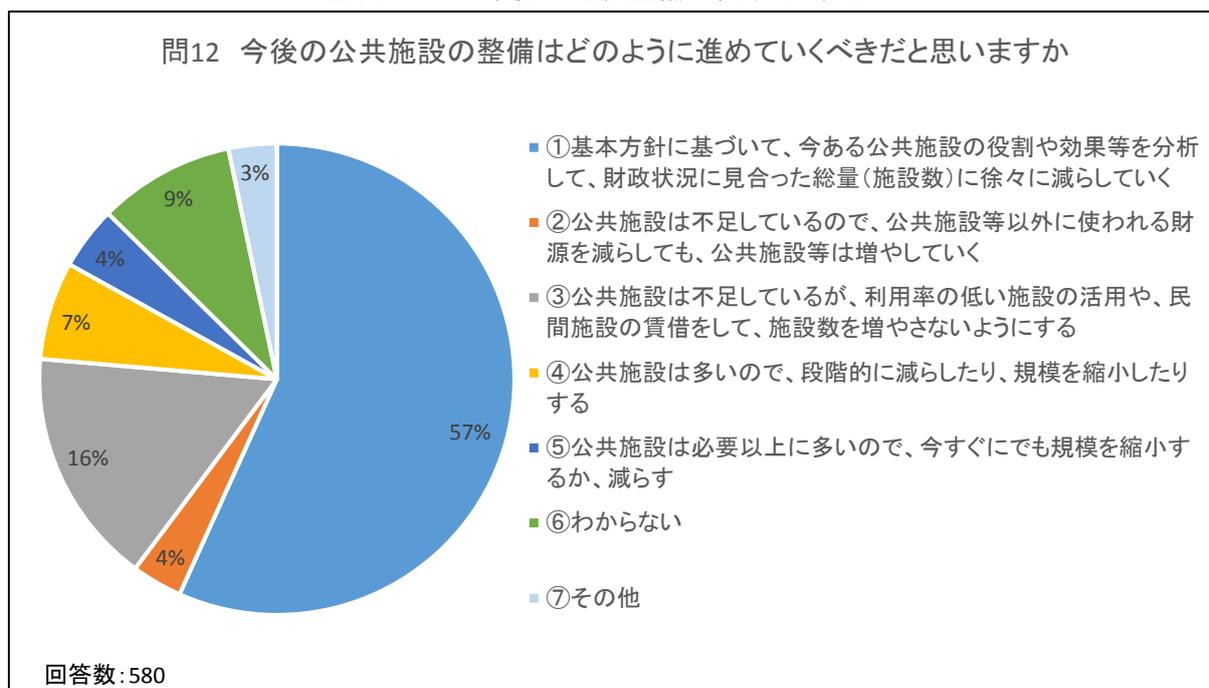
上記の「概ね記載された基本方針（案）でよい」を選択された人が、全体の半数を超える結果となりました。また、「もっと厳しい基本方針（案）でよい」を選択された人も全体の 23% いました。

この結果から、今回の調査では、概ね総合管理計画の基本方針（案）について賛成が得られたと言えます。

第7項 今後の施設整備

問12では、今後の公共施設の整備について、どのように進めていくべきだと思うか、回答者の考えに最も近いものを選択していただきました。

図表 2-12 今後の施設整備に関する考え方



このアンケート調査では、全ての施設を対象としているため、選択肢の多くは、方法の違いはありますが概ね施設の総量は減らしていく整備方針としています。

今後の公共施設整備の進め方について、①を選択した人が最も多く57% (329人) でした。少数ですが、公共施設を増やしていくという②の選択肢は選ばれた人もいました。

第8項 新たな取り組み方針

問13では、公共施設のあり方を見直す中で、新たな取り組みに関してどのように思うか、回答者の考えに最も近いものを選択していただきました。

図表 2-13 新たな取り組み方針に関する考え方

質問事項	回答				
	積極的に実施すべき	どちらかと言えば実施すべき	どちらかと言えば実施すべきではない	実施するべきではない	どちらとも言えない
1 同様の機能を持つ施設が複数ある場合、統合や廃止によって施設数(総量)を減らす	260	201	27	9	56
2 1つの建物に、複数の施設(機能)を集めて、維持管理や修繕、建て替え費用の削減をする	272	186	24	11	63
3 利用頻度の低い施設は、他の用途に変更する等、施設の再生を図る	276	195	11	19	54
4 利用頻度の低い施設は廃止をして、建物等を売却、賃貸による収入の増加を図る	233	179	29	17	94
5 施設の利用状況や管理運営状況に合わせて、適切な利用料金になるよう見直す	198	204	47	19	86
6 地域活動に密着した施設は、地域住民等が維持管理や運営を行う	118	184	71	44	134
7 今ある施設の再整備費用を確保するため、税金を増やす	10	25	152	286	82
8 施設の更新や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する。	181	192	33	29	119

質問事項7を除いた全ての事項について「積極的に実施すべき」「どちらかと言えば実施すべき」が、「どちらかと言えば実施するべきではない」「実施するべきではない」を大きく上回る結果となりました。

この調査では、新たな取り組み方針について概ね賛成はするが、今ある施設の再整備費用を確保するための増税は、実施するべきでは無いと考えている人が非常に多いことから、施設の運営や経費の見直しを進め、現在の財政状況に見合った施設運営となるよう管理していくことが、総合管理計画に求められていると言えます。

第3節 自由記述

問14では、公共施設やインフラ施設の現状や将来のあり方について、自由に意見を記入してくださいとお願いしたところ、全部で292件のご意見を頂戴しました。ここでは、その一部をご紹介します。(小諸市ホームページでは全ての自由記述ご覧いただけます。)

・人口減少社会に向け利用頻度の少ない公共施設は削減し、インフラ施設も適切な維持管理で利用していくといい。いよいよ小諸市も発想の転換が求められる時が来たと思われます。今までを見直し今後に向け決断し実施されるべきと思います。

・人口減少や少子化が進む中で小学校の数が多いのでは？特定かつ少数の個人・団体しか利用しない建物に再整備費用(税金)を多く使うのは好ましくない。高齢化が進んでいる中、今の交通機関が便利とはとても言えない。線路沿いに住んでいる人の割合も少なく近隣に比べると坂道が多いので、自転車・徒歩はかなりキツイ。子育て支援施設よりこれからは福祉施設の再整備に力を入れてほしい。

・7つの基本方針に賛成です。民間のノウハウが無駄がなくなるのであればいいが、民間のように損得勘定だけで判断されては公共性から見て問題なのではないか。

・今後継続していく必要のある施設を決定するのは、利用状況だけでなく多方面から考えておこなうべきだと思います。きちんと考えておこなってもらいたいと思います。

・インフラ施設(おもに道路)周辺の道路、現状的にはひどすぎる。でこぼこ、いずれは何とかなるのでしょうか？

・どんないい施設があっても車が通れなかったり高齢になったりするとその場所まで行けません。近くの公民館、小・中学校を利用し、利用が少ない施設は廃止し、新しい箱ものは作らない。少しでも人口を増やす取り組みをされた方がいいかと思います。

・小諸市の公共施設は長期的な視点に立って建設されていないため、施設が点在しているのが実態である。こうした点在により利用者は施設の存在を知らなかったり、知っていても利用するのに不便な場所に建設されている施設が多い。今後の再整備にあたってできるだけ便利な場所にまとめてほしい。(東御市のように)

・全てスマホやインターネットで登録できるようにしてほしいです。いつまでも手続き・登録を手書きで行うようなアナログ的な方法をとるのは近代社会において時代遅れもいいところだと思います。

・施設の必要性を多い・少ないというとらえ方だけで判断することに疑問を感じます。利用者が少なくてもその人たちにとってはなくてはならない設備かもしれません。みんなが共通に便利に使い、他の市町村から見ても今までとは違う印象を与えられるような公共施設を整備することで市民の増加も期待できるのでは？小諸市の魅力について聞かれたとき、観光のことだけしか答えられないのでは今後ますます人口減も懸念されるのではないのでしょうか？

第3章 まとめと御礼

今回のアンケート調査は、小諸市公共施設等総合管理計画を策定するための基礎資料とするために実施しました。この計画は「将来に渡り必要な行政サービスを、継続して提供する。」ために、公共施設等の長期的な維持管理や運営方法に関する方針を定めるものです。

この計画を実施した場合、最も影響を受ける人は市民の皆様であることから、この計画を策定するためには、市民の皆様の意見が非常に重要です。

市民の皆様のご意見をお聞きする方法はいくつかありますが、最近よく実施される手法にワークショップと呼ばれる手法があります。この手法は、市で設定したテーマに基づき、決められた日時に参加できる人、そのテーマに関心のある人が参加し、直接意見を言うことができる貴重な機会となります。

その一方で、その場所（時間）に行かなくてはならないという制約があるため、関心のあるテーマであっても仕事や家庭の都合などで、行くことが出来ない人がいるとも言われています。また、関心のある人に偏った意見が多い反面、関心の無い人がどのような考えを持っているのか分からないという指摘もあります。

そこで、今回はアンケート調査を実施することにいたしました。これまで、本市ではさまざまなアンケート調査を実施してきましたが、公共施設に関する全体的な調査は、今回が初めての試みです。

アンケート調査は、回答者の時間のあるときに自らのペースで回答することができます。また、今回の様に無作為抽出によって回答者を選択することで、関心の有る無しに係らず広い意見を募集することができるといった利点があることから、この手法を選択しました。

小諸市の公共施設は、施設の老朽化及び厳しい財政状況の影響を受け、あり方の見直しが喫緊の課題です。アンケート調査の中には、施設の廃止や統合といった選択肢が含まれている設問があります。この選択肢は、これまで提供していた行政サービスの廃止や縮小を意味します。それでも、そういった厳しい回答を選択していただいた人が非常に多くいました。また、市が掲げた基本方針（案）についても、多くの皆様に「概ね記載された基本方針（案）で良い」という選択肢を選んでいただきました。このことを考慮し、公共施設が抱える課題を少しでも解決できる計画となるよう取り組みを進めます。

最後に、この調査を通じて少しでも多くの皆様と、公共施設やインフラ施設に関する情報を共有するとともに、よりよい計画となるよう調査結果を活用します。また、調査にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

平成 28 年度
小諸市の公共施設等に関する
市民アンケート調査

結果報告書

小諸市 財政課

〒384-8501 長野県小諸市相生町三丁目三番三号
Tel 0267-22-1700 (代表) Fax 0267-23-8766
E-mail zaiseika@city.komoro.nagano.jp
URL <http://www.city.komoro.lg.jp/>